

図表一覧 vii
執筆者一覧 ix

序論 現代における人の越境——アジアと日本

1. 現代における人の越境 1
2. 移住労働者を送出す側の動向とアジアのディアスポラ 2
3. 日本の現状と本書における位置づけ 7
4. 各章の構成 8

第1部 移住労働の枠組み——課題と挑戦

第1章 移住労働をめぐる ASEAN の地域ガバナンス——制度化の動向と課題 18
はじめに 19
1. 地域レベルの規範の提唱から共有に向けた初期過程 21
2. 原則の確立と制度化——ASEAN 移民労働フォーラム (AFML) 24
 (1) AFML の発足 / (2) AFML の目的と制度的特徴 / (3) AFML の議題と提言
3. 政府間「ASEAN 合意」の採択 30
4. 国内ガバナンスとの連携性 33
 (1) MRC 開設による広報、権利保護の啓発活動の促進 / (2) 仲介業者への経費 /
 (3) 帰国後の社会再統合、雇用促進政策
おわりに 40

第2章 アジアを越境するケア労働の制度化過程 46
はじめに 47
1. アジアにおけるリージョナル・ケア・チェーン 50
2. 送出国の政策 57
 (1) フィリピンの移住ケア労働者の送出し / (2) インドネシアの移住ケア労働者
 の送出し / (3) ベトナムからの送出し
3. 国際規範のインパクト 64
おわりに 68

第3章 特定技能制度の創設と国際労働市場をめぐる送出国の動向	76
はじめに	77
1. 背景——複雑化する制度	78
2. 技能実習制度の特徴——価格管理の困難と「失踪」	81
(1) 斡旋手数料をめぐる多様な政策と実態／(2) 斡旋手数料に関する日本政府の 立場／(3) 斡旋手数料ゼロの事例——フィリピン／(4) 低賃金——受入れ側の 問題／(5) 在ベトナム日本大使館の取組み	
3. 特定技能	95
おわりに	99
第4章 中国人の海外就労をめぐる政策史的考察	102
はじめに	103
1. 中国人海外就労の現状	103
2. 中国人海外就労の政策変遷：準備期（1950～1978年）	108
3. 発足期（1979～1991年）	110
4. 発展期（1992～2003年）	110
5. 法制度整備期（2004年～現在）	112
おわりに	115
第5章 米印間の高度人材の移動をめぐる齟齬とせめぎあい——WTOへの提訴から	120
はじめに	121
1. インドのICTサービス産業を通じた米印経済関係の深化	123
2. 在米インドのICTサービス企業とインド出身の高度人材の関係	127
3. H-1Bビザをめぐる米国内政治と米印関係の動き	130
4. 二国間の齟齬と構造的問題——移民政策か通商政策か	136
おわりに	139
第6章 中南米をめぐる国際人口移動のダイナミズム	146
はじめに	147
1. 現在の中南米の3大人口移動の概要	149
(1) 中米移民／(2) 他大陸移民／(3) ベネズエラ人避難民	
2. ベネズエラ人避難民をめぐる各国の入国管理政策と課題	158
(1) コロンビアの対応／(2) パルーの対応／(3) エクアドルの対応／ (4) チリの対応	
3. 各国の対応の傾向とその比較	173
おわりに	177

第II部 ディアスポラ政策の展開とエスニックコミュニティの現在

第7章 移民出身国と在外自国民——ビルマ（ミャンマー）のディアスポラ政策とその影響.....	186
はじめに.....	187
1. ビルマにおけるディアスポラ政策と在外自国民.....	189
(1) ビルマ政府によるディアスポラ政策——1990年から2020年／(2) 各国における在外自国民の特性 (3) 人的資源としての在外自国民	
2. ディアスポラ政策と在外自国民 ——民政移管後の滞日ビルマ系コミュニティの動向.....	211
(1) 海外労働者派遣の拡大と労働者保護の課題——経済的影響／(2) 在外自国民の権利と在外投票——政治的影響	
おわりに.....	216
第8章 スリランカン・ディアスポラの変遷と労働力輸出政策.....	226
はじめに.....	227
1. 世界の南アジア・ディアスポラ.....	228
(1) 英国植民地期／(2) 独立後：欧米先進国への移動／(3) グローバル化時代のアジア域内移動——中東湾岸諸国、東南アジア、東アジア	
2. 日本の南アジア・ディアスポラ.....	234
(1) 在日南アジア・ディアスポラのプレゼンス／(2) 在日南アジア・ディアスポラの特徴	
3. スリランカのディアスポラ政策の経緯と変遷.....	239
(1) 現代スリランカ社会構成員の成り立ち／(2) スリランカン・ディアスポラの6つの波／(3) 現代のディアスポラ政策	
4. 考察.....	253
おわりに.....	256
第9章 タタールスタン共和国によるディアスポラ政策と各地のタタール・コミュニティ.....	260
はじめに.....	261
1. タタールとタタールスタン共和国.....	262
(1) 現代のタタール／(2) タタール・ディアスポラとタタールスタン共和国	
2. タタールスタン共和国のディアスポラ政策.....	265
(1) タタールスタン共和国代表部と全世界タタール会議の設置／(2) タタールスタン共和国国家プログラム	
3. タタール語の継承と学習を促進する取組み事例.....	270
(1) カユム・ナスィーリー・インスティトゥティ／(2) オンライン・タタール語教育プログラム／(3) 国際タタール語オリンピック／(4) カザン連邦大学におけるディアスポラ学生研修プログラム	
おわりに.....	278

第10章 在日ブラジル人の定住化をめぐるディアスポラ政策の展開と実践	284
はじめに	285
1. 在外ブラジル人と日本における日系ブラジル人	286
2. 在日ブラジル人に対するディアスポラ政策	289
(1) ディアスポラ政策 / (2) 在日ブラジル人に対する教育的支援	
3. 社会的権利に対する本国からの支援——聞き取り調査をもとに	293
(1) ブラジル人コミュニティの高齢化に対する情報発信 / (2) ポルトガル語の継承 / (3) 在日ブラジル人コミュニティとブラジル外交官をつなぐ市民評議会の役割	
おわりに	299
終論 国境を越える人の移動が紡ぐ新しい関係	305
1. 人の越境と前景化する国家	305
2. 国境を越える人の移動が紡ぐ関係	306
3. 移住労働者を保護することの困難	310
4. ホスト社会としての日本——越境的な関係構築という課題	312
索引	317
あとがき	323